

生ごみネットだより

NO 30号 2015年 4月

発行 仙台生ごみリサイクルネットワーク

〒983-0851

仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地
(みやぎNPOプラザ内)

<http://namagominet.web.fc2.com/index.html>



桜が咲き始めると春もたけなわ、皆様、野菜作りの準備で忙しくお過ごしのことと存じます。さて今年も仙台市ごみ減量課は生ごみリサイクル実践講座を年6回開催、ダンボールでの生ごみ堆肥化の出前講座は市政だよりを利用して15団体の申し込みを受け付けます。この仕事をこなすには会員の皆様のご協力が必要となります。講座を手伝って生ごみ堆肥化のコツを発見できたりもします。お手伝いをよろしくお願い申し上げます。

また4月末には新年度の総会を下記のように開催致します。なにとぞご出席くださいますようお願い申し上げます。(事務局より往復ハガキのご案内も致します。)

平成27年度(第16回)定期総会のご案内

日時：平成27年4月25日(土)

午後1時30分～午後3時30分(受付、午後1時～)

場所：NPOプラザ、第2会議室

懇親会：総会終了後、午後3時30分～

NPOプラザ内レストラン「オリーブの風」

会費：3000円

平成27年度菜園チームの活動計画

日下部 稔 (090-8781-4314)

大小の面積で、庭・市民菜園・畑(借用、自家用)を耕作している会員が集まり、毎回成功談、失敗談で賑やかな会です。生ごみネットの会員ならどなたでも参加できます。お待ちしております。

★土づくり、野菜づくり

種からの栽培を目標に、年間スケジュールを立てて、種類が多い中から選定し実践する。ホウレンソウ、小松菜、大根の定番種は勿論 トマト、きゅうり、ピーマン、おくら、じゃがいもマルチ法、さといもの逆さ植えなど当サークルの目玉としていく。またあわせて新種への挑戦も実践する。シーダーテープ栽培も実験する。畝づくり・マルチ法も研究中。

★見学会 県内の菜園愛好家の見学会と交流会を企画し、技術をアップ。

★収穫祭(エコクッキング) 食育の勧めと、美味しい料理法の研修をする。楽しみを創造し楽しい生ごみリサイクルネットワークのPRをしたい。

★保存 新鮮野菜は、冷蔵、パースシャル冷蔵、冷凍、乾燥、酢、塩、砂糖多々あり最良の方法を体験しながら会得する。

場所：毎月第一月曜日13時～16時 泉松陵コミュニティセンター
泉区松陵三丁目28番地の3。TEL (022) 371-2080



黒マルチをかけて作ったじゃがいもの収穫(牧野さん畑にて)



◎生ごみネット定例会開催について (毎月第2土曜日開催)

4月11日(土) 13:30～ NPOプラザ第3会議室

総会の準備、5月23日開催の落葉堆肥フォーラム打合せ

問合せ：牧野(090-5185-2472)

「杜の都の落葉堆肥化フォーラム」

昨年に引き続きフォーラムを**5月23日（土）**に開催します。

場所：仙台市民サポートセンター6階ホール 午後1時より

内容：山内先生講演 「森は海をうるおす」

土作りに大切な腐葉土、フルボ酸、フミン酸について

事例発表：中山市民センター「花と緑のエコタウン事業」

西勝山町内会「試行錯誤をかさねて」

長命ヶ丘団地「団地内公園の落葉堆肥化大作戦」

松陵1・2丁目愛護協力会の体験

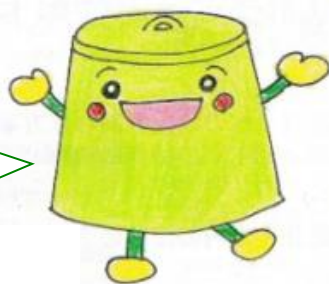
大量の落葉を集めてスタート



◎自然にまかせていたら腐葉土は2,3年かかります。落葉を集め、ぬかや水分をまぜて木枠に積み込む作業は重労働。何度か切返して約半年で出来た落葉堆肥を参加した皆様で分けあい、自分の庭や畑に利用します。

コンポスターの堆肥づくり

ぼくの名前はコンチャン
紙芝居（ペープサート）
で生ゴミが元気な土に
なるとお約束します



公益財団法人・みやぎ・環境とくらしネットワーク（メロン）さんが保育所、幼稚園によびかけた「給食残さの堆肥づくりと幼児の食の循環体験」に生ゴミネットも参加しています。（YMCA加茂保育所など10か所が実践中）

コンポスターは畑や庭におかれています。ふたを閉めた後の有機物分解がなかなか進まず意外に活用されていません。たまにあけると水分過剰でヘドロ状態になってしまい敬遠されたりしていました。でもかわいい保育園児達がコンポスターで生ゴミをたい肥にする勉強をはじめました。篠原さんが作った資料は私達にもとても参考になりますので別紙で紹介します。コンポスターを使いたくなりますよ。7月にはこの事業の報告会が開かれるそうです。

編集後記：保育園などでは作った昼食などを5日間は保存する決まりがあるそうです。子ども達を元気に見守るなかで一般にはわからなかった苦労が色々ある事に気付かされました。

今回の幼児の食の体験事業でメロンさんが作ったコンポスターのしおりは、水はけのよい場所に容器を置き、倒れないようにまわりに土をかぶせるとなっています。これまでダンボール堆肥に生ゴミを投入して分解した場合は温度があがり、有機物が灰になってしまいます。しかしコンポスターでの堆肥作りはゆっくり有機物が分解する為、ミネラル類が多く土に残ります。今まで苦手だったコンポスターをこれからは使わなければと思いました。八島記